

2024 年度駒木会活動計画

駒木会では卒業生同士のつながり「卒業生ネットワーク強化」をキーワードとして、各事業への卒業生参加の推進、卒業生の住所追跡事業、情報発信機能の強化などに取り組んでまいりました。

一方、役員・スタッフの不足によりこれらの活動に十分取り組めていないという現状に加え、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催ができないなど、厳しい状況が続いてきました。

このような状況でも駒木会の活動を継続できるよう、「持続可能な駒木会」をテーマに、組織のあり方や制度などの見直しを進めていきたいと考えております。

【組織運営】

2020 年に実施した会則改定により、各会議へスタッフが参加しやすい制度となりました。引き続き役員・スタッフの一人あたりの負担を削減し、参加のハードルを引き下げ、より多くの方にご参加いただけるよう取り組んでまいります。また、在学生にも駒木会の活動を知っていただき、卒業後の参加につながるような取り組みについても検討してまいります。

【制度面】

理事会と評議員会の区別があいまいだった運用を見直し、評議員会については会議で拘束される時間を極力短縮するなど、参加しやすい仕組みづくりに取り組んでまいりました。

一方、依然として限られた人員で運営せざるを得ない状況のなか、一部役員の任期(通算 10 年)という制約により、今後の運営が困難となることが想定されます。このため、会則改定で再任の制限を一部緩和することで対処したいと考えております。

【会員サービス】

これまでの「卒業生ネットワーク強化」という方針を継承し、会報発行等を継続的に実施してまいります。

・卒業生データベース整備事業

卒業生の住所追跡及び卒業生データベースの整備を引き続き推進いたします。

また、外部委託化による業務効率化やサービスの充実などを検討してまいります。

・ホームカミング・デーの継続的实施

総会とともに実施している「ホームカミング・デー」は毎年 100 名を超える方々にご出席いただいております。駒木会としては最重要イベントと位置づけています。

新型コロナウイルス感染症の影響でホームカミング・デーや交流パーティー、各種イベントの開催ができない状況が続いていましたが、5 類感染症への移行を契機に、2023 年度はホームカミング・デーを開催することといたしました。

2024 年度についても開催を予定していますが、実施方法などについては社会の状況や他大学同窓会の事例などを参考に検討を進めてまいります。

・情報発信の強化

会報などの紙媒体だけでなく Web、ブログ、X(Twitter)、Facebook などを活用した情報発信を行ってまいります。

また、卒業生データベース整備事業と合わせ、会報の到着率向上を目指してまいります。

※会報が届いてない方は住所変更手続きをお願いいたします。